

「灯りの継承者 (Light Inheritors)」プロジェクト — 移住者が地域の冬の物語を“引き継ぎ、更新する” —

大東文化大学 社会学部
阿部ゼミ

灯りをつくるだけじゃない、関係を灯すまちづくり。 藤島歴史公園「Hisu花」× 移住者 × 大東文化大学 よそ者の視点で地域を更新する共創モデル —

鶴岡市の移住に関する課題

- ・2025年版「住みたい田舎ベストランキング」総合部門第5位 (宝島社『田舎暮らしの本』)
⇒ 鶴岡市は移住先として一定の評価
⇒ 「地域に溶け込めるか」「知り合いができるか」といった人間関係への不安
⇒ 移住者は「支援される側」となり、地域の担い手として力を発揮しにくい。

「Hisu花イルミネーション」

・藤島歴史公園「Hisu花」ワークショップは、鶴岡市藤島地域にある歴史公園の活用として、市民有志を中心に、中学生・高校生、地元企業、大学生などが世代を超えて協働し、約16万個の灯りをともしイベント実施。

活動の様子



6/21 第1回WS

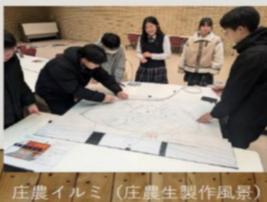


第3回Hisu花ワークショップ

9/11 第3回WS (大東大生も参加)



10/26 イルミ設置作業



庄農イルミ (庄農生製作風景)



看板リニューアル (藤中Ben's)

令和6年度のイルミネーションの特徴

テーマに沿ったイルミネーションの展開
「チル♥フジ」



令和6年度のイルミネーションの特徴

Hisu花deないと2024 2年続けての晴天🌞の中開催!!



「Hisu花 × 移住者 × 大学」 共創モデル図

「Hisu花」ワークショップ
<地域住民+大東文化大学・阿部ゼミによる混成チーム>

ワークショップの役割

- ・イルミネーション全体の企画・設営・運営、安全管理、会場調整、当日イベント企画、移住者の受け入れ

移住者の役割

- ・Hisu花準備・運営への参加 ① |灯|ストーリーの作成、② フィールドノートの記録、③ 改善提案1件の提出

地域の中学生・高校生の役割

- ・移住者へのインタビュー・ストーリーの編集補助
・展示・SNS用コメント作成

大東文化大学の役割

- ・移住者の語り・記録のデータ整理、図解パネル・ZINE制作、Instagram・Web発信、<3D=Data・Design・Digitalを担当>

「灯りの継承者 (Light Inheritors)」 プロジェクトの効果

移住者への効果

～「不安な新参者」から「語れる当事者」へ～

地域住民にとっての効果

～「守る側」から「更新する側」へ～

若者・学生にとっての効果

～「手伝い」から「編集者・記録者」へ～

鶴岡市にとっての効果

～「支援策」から「関係構築モデル」へ～

初めて鶴岡の冬を迎えた移住者が、地元の中学生と並んで灯りを取り付ける。点灯の瞬間、その灯りは、その人にとっては「この地域で最初の居場所」になる。

移住者を増やすのではなく、新しく来た人の言葉が、次の鶴岡を少しずつ形づくっていくための仕組みづくり、16万個の灯りの中に、新しくこのまちを選んだ人の想いが一つずつ宿るその風景こそが、鶴岡の未来である。